

国保をささえる保険税

総世帯数 2,152世帯	総人口 9,351人
国保世帯数 1,165世帯	国保加入数 3,590人
加入率 54.1%	加入率 38.4%
退職者医療対象者数 287人	
退職者医療対象世帯数 202世帯	
加入率	70.4%

昭和63年度 保険税はこうして決めました

区分	賦課割合	課税基準	税及び額
所得割	45%	総所得金額-基礎控除=課税	6.68/100
資産割	15%	固定資産税(土地・家屋)額	33.67/100
均等割	27%	被保険者(加入者)1人について	16,890
平等割	13%	一世帯について	25,960

特別の事情がないのに保険税を滞納している世帯は保険証に代えて「資格証明書」を交付することになります。

○特別な事情とは

- 1 世帯主がその財産につき災害にかかったこと。
- 2 世帯主が事業につき著しい損失を受けたこと。

○診療費は後で払戻し
が、1、2に類する事由があったこと。

資格証明書で診療を受ける場合、医療機関の窓口で全額自己負担し、滞納保険税を納付すると七割分は戻しを受けることとなります。

保険証に代えて 資格証明書

国民健康保険法の改正が行われ、特別な事情がないのに保険税を滞納すると保険証に代えて資格証明書を交付することになりました。

村でも年々滞納者が増加傾向(昭和六十二年度累積額で約一千二百万円の滞納額)にあり、納税相談等で納税の促進を図っていますが、あまり前進しませんので、これらのことも考えていかなければならない状況です。

保険税を滞納すると 全額自己負担で診療

平均割によって年税額が決まり、三期以降六期まで四期にかけて納税していただくことになっています。

なお、昭和六十三年度の税率、均等・平均割額は医療費の鈍化傾向や繰越金の補てんにより、据え置きとすることになりましたが、保険税の最高限度額は三十九万円から四十万円に引きあげました。



本年度税率は据え置き 賦課限度額を四十万円に引き上げ

保険税を決める場合は、まずその年の医療費がどのくらいかを予測し、その中から国が負担する分を除いたものを保険税として各世帯に割り当てることとなります。

第一期及び二期については前年度の保険税の概ね六分の一相当額であり、第三期からは、所得割、資産割、均等割、

なぜ必要か

国保は、加入した人が納める保険税と国の補助金とを合わせたものを財源として医療費の支払いをしています。したがって、国保に加入した人は、窓口で実際にかかった医療費の二割ないし三割を支払うだけで済むこととなります。残りの七割ないし八割は国保の財源から医者に支払われます。このように保険税は医療費の支払いに使われる貴重な財源です。

《第7回壮年野球大会》 ロートルズが 二連覇飾る



熱戦が繰り広げられた壮年野球

第七回壮年野球大会(村体育協会主催)が八月二十一日開催され、参加六チームで熱戦を繰り広げました。

壮年野球大会は、四十歳以上が資格要件としても、往年の名選手や村民野球大会などの現役選手も多く参加して

横越村農協が 四年連続六回目の優勝

七月二十四日と三十一日に行われた昭和六十三年度村民野球大会は、横越村農協が四年連続六回目の優勝を飾り大会の幕を閉じました。

今年の大会は、二十七チームが出場。各会場で熱戦が繰り広げられましたが、決勝には早起き野球大会の覇者横越村農協とロートルズが勝ち進んできました。



優勝旗を受ける農協チーム

横越地区に 待望の都市ガス供給

越後天然ガス(株) 横越営業所が開所

村民が待ち望んでいた都市ガスが、本年度より供給区域が拡大され、この九月からは横越地区の一部にも供給が開始されました。

村の都市ガスは、越後天然ガス(株)によって、山崎製パンを中心に二本木地区の一部に供給されてきましたが、村や地域の強い要望で、このほど横越中央土地区画整理事業の大規模宅地造成を契機に、横越地区や二本木地区などの供給区域の拡大が実現されることとなったものです。

これに伴い越後天然ガス(株)では、ガス管布設工事の進捗や横越営業所建設などが完了したため、八月二十二日には横越本村地区ガス開通式と横越営業所の開所式が行われました。

都市ガス供給は、六十三年度には中央土地区画整理事業の団地、農協第一団地、二本木寿団地を中心に、六十四年度では旧役場跡地周辺や農協第二、第三団地などが計画されています。



小出社長と浅見村長によりテープカット

「わがむらわがまち 自慢の逸品まつり」開催のお知らせ

近年、「村おこし」「一村一品運動」と名付けられた地域活性化のための特産品づくりが全国的に活発化しており新潟県においても市町村・商工団体・農協等が様々な取組を行っています。

それらの活動を支援し、新しい特産品の販路開拓を図るため、県主催で「わがむらわがまち自慢の逸品まつり」が開催されます。

県内各地域の市町村からバラエティに富んだ特産品が展示即売されるほか、特産品の手づくり実演、特産品プレゼント、県下のミス大集合など楽しいイベントが盛り沢山に予定されており、県民多数のご来場を期待しています。

▽期間
昭和63年9月21日(水)から26日(月)まで

▽会場
新潟市 大和新潟店

住宅統計調査にご協力を

十月一日村内一〇〇世帯余を調査

今年、昭和二十三年以来五年ごとに行われている「住宅統計調査」の年です。この調査は、わが国の住宅と世帯の居住状況を明らかにするために用いられるもので、全国の約三百七十万世帯を対象とする大規模な調査であることから「住宅の国勢調査」ともいわれています。

調査の結果は、国、都道府県、市区町村の住宅建設計画や環境整備計画などの立案の基礎となる資料として幅広く利用されます。

調査の対象となった世帯には、九月二十三日から三十日の間に、知事から任命された調査員が、調査票をもって、訪問します。記入していただいた調査票は、十月一日から七日の間に、再び調査員が回収にうかがいます。

対象となった世帯の方は、調査へのご協力をお願いいたします。